

令和元年度第2回長浜市公共施設マネジメント推進委員会 会議要点録

- 1 日 時 令和元年10月4日（金）10：00～12：00
- 2 場 所 長浜市役所本庁5階 5-A会議室
- 3 出席者 ○委員（9人）
石井委員長、岡井副委員長、片山委員、長谷委員、桐山委員、平井委員、森川委員、金森委員、石田委員
○事務局（6人）
公共施設マネジメント課：元村課長、林担当課長、田中課長代理、松井主幹、田中主査、勝木主事
○オブザーバー（1人）
藤田市民協働部次長

4 欠席者 山中委員

5 傍聴者 なし

6 開 会

- ・元村課長から挨拶
- ・資料の確認
- ・定足数の確認
- ・会議公開の確認

7 議 題

- (1) 長浜市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の改正案（素案）について
- ・資料3、資料5、資料6に基づき、事務局から説明

【質疑・意見など】

①総合管理計画について

(委員)

- ・ 現行計画では、第5施設類型ごとの管理に関する基本方針（24ページ）において、延床面積の合計について全体数値と一致しない旨の注意書きがある。改正案ではその記載がないが、変わらない（一致する）ということか。
- > 現行計画の当該基本方針、及び個別施設計画では、主な施設について記載しているので、総量と一致していない。改正案では、全ての施設を記載することとしたので、一

致している。今後も固定資産台帳等との突合の結果、新たに追加すべき施設が判明した場合は、いずれかの類型に位置付けて記載していくことになる。

(委員)

- ・ 将来の更新費用の推計（16ページ）について、更新単価は全国的に見て上昇しており、5年前と違う印象を持っているが、改正案では見直しているのか。
- 今回は、中間見直しということで、当初設定した数値目標の検証等を行ったことから、当初と同様の考え方に基づいて算出している。新たに追加することとなった施設については、当初の単価を類型別かつ構造別に区分した平均を採用している。
- ・ 現在、実際に行っている更新単価と計画で採用している更新単価はどれくらい違うのか。
- 十分な検証はできていないが、今後、次期計画を見据えて整理していきたいと考えている。
- ・ 改正案では、今回の推計結果から得られるものより厳しい数値目標を設定することだが、単価の上昇等を踏まえると決して安心できるものではないと考える。結論的には、22ページの表6のとおり当初の目標延床面積45.1万㎡を目指し、今後35年間で32%の削減を目標とするということによいか。
- そのとおりである。

(委員)

- ・ 昨今の様々な気象状況（異常気象）等を踏まえると、施設の劣化が進んでおり固定資産台帳の耐用年数と一致していないと思う。施設の劣化状況等を勘案しながら耐用年数の検証を行うべき時期にきていると思うが、どのように考えているのか。質の向上を図るのであれば、このようなことについて整合をとるべきである。
- 計画で採用している耐用年数は、固定資産台帳のものではない。構造区分等によって設定したものをを用いて推計している。国からも示されているが、個別の施設について点検や調査を行い、その結果などから具体的な対策を考える必要がある。今後、他団体の事例等を参考にしながら、手法等の検討を進めていきたいと考えている。

(委員)

- ・ 耐用年数等は計算上、一律で設定しているもので、個々で考えると全く違うと思う。個々の更新計画を作るときに、劣化状況等を踏まえて検討していくことになるのではないかと思う。

②個別施設計画について

◆全体

(委員)

- ・ 令和6年度までの削減率について、総合管理計画の改正案では3%となっているが、個別施設計画の改正案（3ページ表1）では9%となっている。これは、総合管理計画の削減率を個別施設計画の削減率が上回っているという理解でよいのか。
- 総合管理計画改正案の3%は、今後5年間（令和2年度から令和6年度まで）の削減率であり、個別施設計画改正案の9%は、当初から10年間（平成27年度から令和

6年度まで)の削減率となっている。総合管理計画の当初から10年間の削減率は6%であり、個別施設計画の削減率が上回っているという考え方については、お尋ねのとおりである。

- ・ 総合管理計画では、公共建築物とインフラ資産で分かれているが、インフラ資産の建築物については、公共建築物に含まれているのか。
- > 計画上の区分については、総合管理計画の2ページに図示しているとおりである。下水道施設である処理場などの建築物については、インフラ資産として分類している。
- ・ そうであるのなら、表1は公共建築物の合計もあった方がよいのではないかと検討いただきたい。
- > ご指摘を踏まえて検討する。
- ・ 4ページの下に記載されている本計画の見方について、「⑦」は「③」の誤りか。
- > この番号については、6ページ以降の番号と対比させて記載しているものである。

(委員)

- ・ 公共建築物の延床面積の削減について、現時点においては進捗が予定より進んでいるという理解でよいのか。
- > 平成30年度末時点では予定より進んでいるということである。
- ・ 全体で見ると進んでいるとのことだが、各々の類型で見たときに遅れているもの(進捗が予定より進んでいないもの)はあるのか。
- > 3ページの表1で具体例を出すと、施設タイプの宿泊施設については、令和6年度末で100%の削減を目指しているが、平成30年度末では12.6%の削減となっており、今後5年間で大きく削減を目指していかなければならない。数値のみでは判断できないところもあるが、進捗状況の目安として平成30年度末の削減率を確認していくことになるかと考えている。
- ・ 平成30年度末の数値目標を当初設定していたのか。
- > 別途設定しているわけではなく、10年間の数値目標を割り戻して進捗状況の判断をしている。
- ・ 当初予定していたのは、令和6年度末の数値目標を設定していたということか。
- > そのとおりである。

◆学校教育施設 <<6~16ページ>>

(委員)

- ・ 14ページの今後の施設の具体的な方向性において、小中学校の統合等(木之本、虎姫等)について記載されているが、令和6年度末の延床面積が減少していないのは、統合後の旧施設を解体しないでそのまま残存するためなのか。
- > 統合後においても、施設をそのまま学校教育施設として使用することを予定していることなどから、延床面積の減少がないものと考えられる。ここで記載している統合とは、機能の統合という意味も含まれている。

◆生涯学習系施設 <<17~39ページ>>

(委員)

- ・ 17ページ以降のまちづくり施設について、新たに整備された余呉まちづくりセンターはどこに記載されているのか。
- > ①施設別状況については、平成30年度末時点のデータを基にしてとりまとめているため、令和元年度に竣工する余呉まちづくりセンターは記載していない。
- ・ ⑤進捗状況・数値目標の令和6年度末の延床面積に足されているのか。
- > 建設予定のものとして計上されている。
- ・ 事実に基づいて記載した方がよいと思われるので、何か対応を検討いただきたい。
- > 事務局で調整させていただく。

(委員)

- ・ 20ページに記載されている長浜文化芸術会館の耐震補強「不要」とは、耐震補強をしなくてもよいということなのか。
- > そのとおりである(施設所管課に対して行った公共施設調査票等を確認)。耐震診断が必要となったものについて、耐震補強が必要かどうかの判断をしており、不要となったものはそのように記載している。
- ・ 23ページの⑥総合管理計画第5施設類型ごとの管理に関する基本方針に「…中央図書館機能を有する施設とします。」とあるが、改正時期を考えると過去形の表現になるのではないかと(そのほかにも同様の表現がある)。

(委員)

- ・ そのとおりであると思う。改正計画の発行は令和2年3月の予定なので、その時点での表現になると思う。にしあざい診療所のところなども同様である。
- > 延床面積の時点を平成30年度末としているので、文章の表現も時点を統一している。
- ・ 具体的に時期を明記してもよいのではないかと。

(委員)

- ・ 過去形の表現としても差し支えないのではないかと考える。それか、どこかに注記をして明確にわかるようにしたらどうか。意見として受け取ってもらえればよいが。
- > ご指摘を踏まえて検討する。

(委員)

- ・ 以前、長浜文化芸術会館については閉鎖の方針と聞いていたが、令和6年度までは今のまま使えるということか。使えるのであれば、今後の利用について検討できたはず。
- > 文化ホールのあり方懇話会において、昨年時点で長浜文化芸術会館の耐用年数は残り2年であり、設備の老朽化がかなり進行していたことから、一般論として利用はその耐用年数くらいまでという話があった。その後、指定管理者の変更があり、様々な検討等を行ったところ、設備の機能的にも一定程度確保できたため、現時点では最低4～5年は利用可能であると考えているところである。

(委員)

- ・ まちづくりセンターについて、他団体での取組や考え方はそれぞれであるが、長浜市の場合は、過大な投資をしているように見受けられる。今後は、全てを指定管理者制度による運営とすることなどを検討いただきたい。

> 19ページの⑦今後の施設の具体的な方向性においても記載しているが、地域づくり協議会に対して引き続き指定管理者制度の導入に向けた働きかけをしていきたいと考えている。

- ・ 現在、指定管理者制度を導入しているところはあまりないのではないかと。

(委員)

- ・ ①施設別状況の運営方法に「指定」と記載されているところが指定管理者制度を導入しているところである。

(委員)

- ・ 木之本まちづくりセンターの運営方法に「指定」という記載がないのは、平成30年度末時点の情報であるためか。

> そのとおりである。

- ・ 木之本地域では、まちづくりセンターに加えて交遊館やスティックホールがあり、住民としては、建物を持ち過ぎているという思いもありながら、何とか活用しようとしている。市民の欲求と施設活用の充足感は各まちづくりセンターで異なると思う。生涯学習事業を活発にされているところもあれば、貸し館業務のみとなっているところがある。施設数が多いため、金銭的な負担が大きいと思うので、もう少し一歩踏み込んで活用方法等をこのような計画に記載しておくことで負担軽減の意識に繋がると思う。

(委員)

- ・ まちづくりセンターは、地域の方々がよりどころとする施設なので、避難施設であるという記載を追加していただきたい。生涯学習事業等を実施するだけでなく、防災意識を高めるという視点からもまちづくりセンターの活用を促してほしいと思う。

(委員)

- ・ ご意見を受けて検討していただきたい。

(委員)

- ・ レクリエーション・観光施設の⑦今後の施設の具体的な方向性において、譲渡に向けた協議が令和6年度まで続いている施設があるが、あまりにも長いのではないかと。市の財政的にもできるだけ短期間で進めた方がよいのではないかと。

> 施設譲渡については、土台作りを十分におこなわないとなかなか受けていただけないというのが現状である。譲渡した後も長期的に継続して運営ができるよう課題整理等を含めて協議・検討を進めているところである。

(委員)

- ・ 大見いこいの広場やウッディパル余呉については、協議が進んでいるように思っているが、譲渡をするかしないかの協議をするということか。

> 現在は、指定管理として管理をお願いしているが、そうした中で譲渡に向けた協議を行っていくということである。

(委員)

- ・ こういった協議等はどこの部署が窓口となって行っているのか。

> 各所管課がそれぞれの相手方と協議を進めていく。

- ・ 各所管課と公共施設マネジメント課との連携はあるのか。にしあざい診療所の際も思っていたが、横の連携をとって進めていただきたい。
- > 横の連携を取ることは、難しい場合もあるが、積極的に当課が間に入るなどして連携をとっていききたいと思うので、よろしく願いしたい。

(委員)

- ・ 今回のこの計画をまとめることで庁内の合意形成が図られるので、これをもって関係課と一緒に調整にあたるということだと思う。

◆産業系施設 << 40～45 ページ >>

- ・ 特になし

◆福祉系施設 << 46～66 ページ >>

(委員)

- ・ 幼稚園・保育所・認定こども園の①施設別状況には、市の施設をあげているということか。
- > そのとおりである。

(委員)

- ・ 幼稚園・保育所・認定こども園については、平成30年度末での増減率が▲0.1%となっており、すでに令和6年度末までの増減率を達成しているので、これ以上はよいのかもしれないが、目標は目標として、今後さらに廃止等を進めるのであれば、もっと努力をするというような方向性があるのではないかと思う。「検討を進める」では方向性がわからないので、具体的に記載すると動きがわかると思う。担当課がやっていることをそのまま記載しているだけのような印象を受けてしまう。
- > 統合や適正配置等についての方針（考え方）のようなものを定めて、そういった取組を検討しているところである。

(委員)

- ・ 高齢者福祉施設について、指定管理を受けている社会福祉協議会は人員配置等を鑑みて施設の充実に向けて努力されている。その中で課題だと感じているのが、浅井福祉ステーションである。かなり老朽化が進み利用者が少ない状況の中、現時点では指定管理による運営を行っているが、指定管理者は今後の方向性を知りたがっているといった状況である。例えば、無くすという方針を立てていただくと、配置替えや利用者の負担等について検討できると思う。いつになったら明確になるのか。

(委員)

- ・ ハード的には耐用年数まで20年以上あるが、利用者が少ないというのは別の問題である。

(委員)

- ・ 民営の施設も含めて他では、明るいデイサービスセンターができてきている。場所等を勘案して大きなメスを入れていただければと思う。
- > 担当課においてもこの件については話をしていると聞いている。現時点では、計画に記載できる段階までできていないところである。

◆行政系施設、公営住宅、都市基盤施設、企業会計施設、その他の施設等

《67～102ページ》

(委員)

- ・ 墓地について、高月きたひら公園墓地にトイレがある。このような小規模なものこそ何とかならないのか。こういうところから着手していった方が早いと思う。

(委員)

- ・ 他の墓地は、墓地しかないので延床面積がない。高月についてはトイレがあるので、それを維持するということかと思う。

(委員)

- ・ 多少反発があったとしても進めていけばよいと思う。感想として伝えておく。

(委員)

- ・ その他の施設等について、延床面積の増減があるが、リストがないから詳しくわからない。
- > 用途廃止した施設等がこの分類に入ってくることがある。施設数としてはかなり多くなるので、このような記載内容としている。
- ・ 主な施設を記載するなど、わかりやすくした方がよいと思われるので検討いただきたい。

(委員)

- ・ 西浅井の旧健康増進センターがその他の施設等に入っているかと思う。新たに建てるのもよいが、後始末も大事だと思う。あまり影響が出ないところから着手して行ってほしい。

(委員)

- ・ 解体経費をどうするかという問題がある。次が決まらないと解体経費を投資できないという考え方もあると思う。
- > 解体については、危険度が高いものから優先的に進めていくという考え方のもと、行政改革で生み出してきた財源などにより実施している。今後も近隣住民等への影響等を勘案し、老朽化したものから積極的に進めていきたいと考えている。

(委員)

- ・ 庁舎について、支所は空きスペースが多いと感じている。特に高月支所については、立派な建物であるが人が少なく、広い会議室が存在するという状況であった。現在、創業や起業するための施設を求めている方が多く、住んでいるところの近くにあり、長期間ではなく短期間で試しにやってみるための施設について相談を受けている。そういった方への貸与について検討いただければと思う。
- また、民間企業では、設備投資等はされているが、研修施設や会議室が削減されている状況である。高月支所を例に出すと、近隣にいくつかの企業があるので、企業の研修施設や会議室として有効活用するなどの方向性でお願いできればと思っている。

◆全体（再）

(委員)

- ・ 意見としてお伝えするが、個別施設計画改正案の1ページ目の写真について、適正配置のところには、余呉小中学校ではなく西浅井支所（にしあざい診療所）のことについて記載した方がよいと思う。適正配置として余呉小中学校の記載があり、その横に小学校給食費補助事業の記載があるが、あまりピンとこない。「適正配置、統廃合、当初の目的を果たした施設の新たな活用」という流れで記載した方が分かりやすいと思う。

(委員)

- ・ 廃止をする際に建物の寿命を考慮されている感じがする。寿命ももちろんだが、施設自体に利用者がいないという状況にある施設については、もう少し積極的に廃止の方向で検討する必要があるのではないかと考える。ただし、必ずしも建物を潰す必要はなく、建物が新しいものであれば、一番よいのは民間への売却だが、なかなか難しいと思うので、他の用途への転用を検討するとともに、施設全体のうち一部しか使っておらず、残りの部分が空いているというのであれば、その部分に他の機能を入れるなど、分野が違う機能であっても統合していくことを積極的に考えていく必要があるのではないかと思う。この場合において、個別の担当課だけではそのようなアイデアは出てこないかもしれないので、公共施設マネジメント課が全体的な事を考えて統合等を考えていかれるとよいと思う。
- > 頂戴したご意見については、十分に理解しているところである。当課が創設されたという意味もあるので、現在、積極的に関わっていけるように進めている。まだまだご指摘があるかと思うが、様々な視点をもって、できる限り連携をとって進めていきたいと考えているのでよろしく願います。

(2) 長浜市公共施設等総合管理計画の進捗状況（平成30年度末）について

- ・ 資料7に基づき、事務局から説明

【質疑・意見など】

- ・ 特になし

8 その他

- ・ 今後の主なスケジュールについて、事務局から説明

【質疑・意見など】

(委員)

- ・ 本日の会議で各委員から様々なご意見等をいただいたので、パブコメに出す原案ができたなら各委員に送付いただきたい。

9 閉会